いっぽいっぽ

R ２・７・３　No.４

天草市立有明小学校
特別支援教育コーディネーター
山本美紀

夏休みに再確認したい支援の方法

今年は、８月１日～１９日までの短い夏休みとなることは、ご存知の通りです。その間､子どもたちが学校と同じように生活リズムを崩さないように過ごすことが、猛暑の中の２学期を乗り越えるコツとなります。（参照いっぽいっぽ No ２休校の過ごし方）

これでは、多くの子どもが忘れます。

1　復唱させましょう!

何をするのか。言葉にすることで子ども自身も確認できます。

2　すること時間割を提示しましょう!

もっと確実にできるには、タイムスケジュールを作り、目に見えるところに提示することです。チェック欄も作っておくと、自分で確認できます。

９：００	プリント２枚	○　×
	きゅうけい	
１０：００	読書 P25 ～ P30	○　×

余裕を持たせた休憩が効果的です。

3　その日のうちに確認をしましょう！

「ちゃんとしたね！？。」だけでは、子どもの信頼を得られません。「きちんとその日の行動を見られるんだ。」と思わせることこそ、自分の行動に責任をもたせることにに繋がります。大変ですが、よろしくお願いします。

集中力に課題有りの子どもチェック

○机や部屋を片付ける
机の上には、プリントと鉛筆・消しゴムだけ
○物をあふれさせない。
物に溢れていると大切にする心が育ちません。

×しなさい。
○しようか。

×なんで？
○どうしようと思ったの言葉かけでやる気がかわります。

特別支援学級から学ぶ
～みんな違って　みんないい～

今年度も特別支援学級の子どもたちを正しく理解してもらうために、各学級で授業をさせていただきました。

１年・３年・５年は「あすなろ学級」の渡辺が該当学年の子どもと共に、２年・４年・６年は「ひまわり学級」の山本がゆいさんと一緒に授業を進めました。

学年に応じて、少しずつ目標は違うのですが、全体を通して言いたかったことは「個性を大切にしながら、相手のことも受け入れる。」ということです。

3年生での学習の様子

「あすなろ学級」の子どもたちは、昨年までみんなと全て一緒に学習していた仲間です。でも、今年は国語と算数を「あすなろ学級」で学び、他の教科はみんなと一緒に学んでいます。「じっくり集中して学ぶ力をつけるため」にそれぞれが頑張っていることを各学年で紹介しました。保育園が一人だけ違った１年生も交流学級の子どもたちが、「折り紙が上手なんだよ。」と教えてくれるほど、どの学年も違和感なく共同学習が進められています。

「ひまわり学級」のゆいさんにとって、とても嬉しかったことは、みんなが昨年一緒に学習したことを覚えていてくれたことです。昨年は、手すりを持って階段を上っていたゆいさんが、リズミカルにトントントンと階段を上る映像を見たとき、「ゆいさん、すごい！」「ゆいさん、頑張っているんだ。」という声があがりました。

「ゆいさんも頑張っているから、自分はもっと頑張らないといけない。」などと、ゆいさんの成長した姿から自分を見直すことができました。

黒板に掲示するゆいさんと２年生

特別支援学級の５人の子どもは、それぞれが自分の苦手も個性としてとらえ、克服を目指したり、別の代替え方法に直したりしながら、力をつけています。

通常の学級にも、学習の中で声かけを多くしてやったり、量（問題などの）を減らしてやったりしながら、学びを継続している子どもたちや健康上の配慮が必要な子どもたちもいます。「こういう特徴があるから恥ずかしい。」とか「ダメだ。」と思わないでください。上手に社会生活に順応できるようになることを考えましょう。そのための「特別支援教育」なのです。夏休みに、家庭訪問や個別面談で担任から「○○の支援をしていきましょうか・・」という話がでましたら、是非、じっくりと学校での様子などに耳を傾けてください。子どもの未来を一緒に切り開いていきましょう。